

Title	中小企業におけるイノベーション創出のための enablerに関する予備分析
Author(s)	鈴木, 勝博
Citation	年次学術大会講演要旨集, 34: 211-211
Issue Date	2019-10-26
Type	Conference Paper
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/16493
Rights	本著作物は研究・イノベーション学会の許可のもとに 掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Research Policy and Innovation Management.
Description	一般講演要旨

中小企業におけるイノベーション創出のための enabler に関する予備分析

鈴木勝博（桜美林大学）

1990 年代初頭以降、いわゆる「失われた 20 年」の間において、わが国の国際競争力は大きく低下し、中小企業の事業所数も大きく減少した（鈴木他、2013）。この間、バブル経済の崩壊やリーマンショック等、事業環境に大きく影響する事象がいくつか起こったが、ここ数年は中小企業の景況はゆるやかな改善傾向にある。実際、大きく落ち込んだ中小企業の DI は、2013 年にリーマンショック以前の水準に回帰した後（中小企業庁、2016）、消費増税等による一時的な落ち込みを見せながらも、全体基調としては「横ばい」もしくは「緩やかな改善」の傾向が続いている。しかしながら、近年、国内の人口構成の変化に伴う人材不足や後継者不足の問題等が大きくクローズアップされつつあり、中小企業を取り巻く事業環境が大きく改善されたとも言い難い状況である（中小企業庁、2019a, b）。

このような背景のもと、中小企業における「イノベーションの創出」は、その競争力を向上させていく上で、依然として重要な 이슈 のひとつだと考えられよう。90 年代から 00 年代にかけてクローズアップされた 이슈 でもあるが、ここ数年、中小企業をとりまく事業環境の変化は加速しており、現在においてもその重要性は失われていないものと推察される。

海外の先行研究においては、中小企業のイノベーション創出に際し、社内外のイネーブラー（internal enabler と external enabler）それぞれについて、貢献度の大きい項目はある程度判明している（Love and Roper, 2015）。Internal enabler としては「社内での R&D 活動」がまず筆頭に挙げられ、その他、「自己ファイナンス機能」、「従業員のスキル」の重要性が検証されている。また、External enabler に関しては「事業に適した場所の選択」、「社外に対するオープンネス」、「輸出を通じて得る学び」等の重要性が指摘されている。一方、国内では中小企業のイノベーション創出とその成功要因に関する定量的な分析を行った先行研究はそれほど数多くは無いと考えられる。R&D に関連した文脈においては、他社との技術連携や産学連携などの効果を統計的に分析した先行研究が存在しているが（元橋、2003；岡室、2009）、イノベーションそのものを被説明

変数とする試みは（講演者の知る範囲では）まだ限定的であろうと考えられる。なお、過去に講演者が、OSLO Manual に準拠したアンケートによって行った予備的な分析（約 400 社）においては、「市場をリードする画期的なイノベーションの創出」に際し、「製造プロセスに関するイノベーション」、「販売に関するイノベーション」ならびに「単独出願」が有意に寄与することが示されているが（鈴木、2015）、internal enabler と external enabler の切り分け等に不十分な側面があったため、近々、より網羅的なデータ収集を計画中である。本講演では、上記の背景について整理するとともに、調査の準備状況等について報告する予定である。

参考文献

岡室（2009）、「技術連携の経済分析」、同友館。

鈴木他（2013）、「中小製造企業における先端技術開発とイノベーションに関する調査研究」、（独）中小機構 調査研究報告書 Vol. 5, No. 4.

鈴木勝博（2015）、「研究開発型の中小製造企業におけるイノベーション活動とその連関」、桜美林論考ビジネスマネジメントレビュー Vol. 7, pp. 49-61.

中小企業庁（2016）、「中小企業白書（2016 年版）」第 1 部第 2 章「中小企業の動向」。

中小企業庁（2019a）、「中小企業白書（2019 年版）」。

中小企業庁（2019b）、「中小企業景況調査報告書（2019 年版）」。

元橋（2003）、「産学連携の実態と効果に関する計量分析」、RIETI DP Series03-J-015

Love, J. H. and Roper, S. “SME innovation, exporting and growth: A review of existing evidence”, International Small Business Journal 33 (2015), P.21.